

秋空の下 虹の松原クリーン大作戦！

～ NPO法人 唐津環境防災推進機構主催 ボランティア活動(松葉かき)に職員2名が参加 ～

10月17日、虹の松原(唐津市)において、秋空の下、NPO法人唐津環境防災推進機構KANNE主催による「虹の松原クリーン大作戦」が実施されました。当日は、唐津市経済観光部、唐津南高校、唐津西高校、唐津市内の中学校、関係機関、協力企業・団体、一般ボランティア等、約300人が参加しました。佐賀森林管理署からは、植薄地域林政調整官、志戸森林官(家族で参加)が参加して汗を流しました。

現地に到着後、受け付けを済ませて早速作業に入り、はじめに地表の落枝と松ぼっくりを拾い集め、その後、松葉かきを行いました。

作業の途中には、KANNE 藤田事務局長から「虹の松原はおよそ400年前に唐津藩初代藩主が潮害、飛砂から田畑や家を守るために砂丘に、クロマツの植栽を命じたのがはじまりです。そして今日まで受け継がれてきました。このような、作業を通じてこれから先も虹の松原を大切に守っていきましょう。」と虹の松原の歴史とボランティア作業を企画した思いを紹介されました。

今回の作業は、浜崎森林浴の森公園付近の約1ヘクタールで実施され、作業開始直後は、肌寒い気候でしたが、後には額に汗したボランティアの方が多く見られました。そして、参加者の手によって白い砂が蘇り作業の成果が見えてきました。

本年6月に続いて2回目のクリーン大作戦に参加し、虹の松原が地元唐津市民をはじめ多くの方々の支えによって維持されていることを目にし、当署としても、関係機関、団体などと連携して、今後も「虹の松原再生・保全」に取り組んで参ります。



参加者によって集められた松葉



志戸森林官(家族)も参加して松葉かき(中央2人)



参加者によって集められた落枝